



社会福祉法人 熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 75号 令和5年4月



プロフィール

- ・ 看護師
- ・ 一般社団法人 繋 代表理事
- ・ まちの保健室&隠れ家 café「穏 café あたたかい木」 オーナー

宮崎 睦美

皆さん、佐藤初女さん（1921～2016）をご存知でしょうか。

龍村仁監督『地球交響曲 第二番』の映画をご覧になった方もお有りかと思います。

青森県にある岩木山のふもとに「森のイスキア」をつくり、生きる苦しみを抱えた人々を、心の温まる手料理でもてなし、癒し、日本のマザーテレサと呼ばれた方です。

初女さんは、私の尊敬するおひとりです。

私は、2017年にグリーンケアを軸に、こころのケアや、看取り研修を展開して参りました。

2018年より熊本いのちの電話の皆様とのご縁をいただき、グリーンケアの研修を担当させていただいております。また、2022年度より、研修委員を拝命いただきました。

そんな年月の経過の中で、私はある気づきを致しました。

それは『心と体は一体である』

この言葉はよく耳にされるかと思えます。

私はある時から、身体を作っている食は、心をも作っているのではないかと、【食と心】に、私なりの気づきを得たのです。

さらに、自らの経験から人の弱さだけでなく、強さも知り、回復していく力も備わっている事を学びました。

その学びから、まずは安心安全な空間の中で、その人の在りたいように居れる場所が必要だと。

更に、その場所では、大地からの恵みを、心を込めて食にし、“いのち”と“こころ”をいただくことが、人だけでなく自然や、生態系も健康で、循環してこそ、本来の健康という概念を持った、まちの保健室caféを作ろうと考えました。

穏caféあたたかい木は、2021年から山鹿市で、共感してくださる方々と作り始め、今年で丸2年目を迎えます。

これまで、地域の方々だけでなく、県内外や、海外からもお越しくださいました。

そこには、自他共に尊重し合う心の交流が生まれ、闘病中の方、介護問題やハラスメント、死別のかなしみなど、様々な荷物を下ろされる方もいらっしゃいます。

その人に必要な、何かしらの気づきや、きっかけを掴まれている様に感じます。

熊本いのちの電話の皆様と共に、今出来ることで、佐藤初女さんが残したかった想いをカタチにしながらか、こころを込めて歩んで参りたいと思います。

通信75号 目次

巻頭言	P1
電話相談の状況報告	P2
一泊研修	P4

自主勉強会	P5
社会資源探訪	P6
感謝報告	P7
お知らせ	巻末



熊本いのちの電話
ホームページ

相談電話 096・353・4343

2022年 熊本いのちの電話の相談状況

1. 概況

2022年に熊本いのちの電話で受信した相談件数は9,107件で、2021年に比べ1,176件増加した。

相談件数の男女別では、男性（4,935件）＞女性（4,172件）であり、男性からの相談が多い。

相談件数、自殺傾向件数共に前年に比べ増加している。

また相談件数に対する自殺傾向件数の割合(自殺傾向率)は男性は前年に比べ増加しているが女性はほぼ横ばいとなっている。自殺傾向率は女性の方が大きく、女性からの相談の深刻度が高いと思われる。

かけ手	相談件数				自殺傾向件数(再掲)			自殺傾向率(%)		
	2022年	2021年	増減数	増減率(%)	2022年	2021年	増減数	2022年	2021年	増減率(%)
合計	9,107	7,931	1,176	14.8	1,708	1,410	298	18.8	17.8	1.0
男性	4,935	4,076	859	21.1	883	621	262	17.9	15.2	2.7
女性	4,172	3,855	317	8.2	825	789	36	19.8	20.5	-0.7

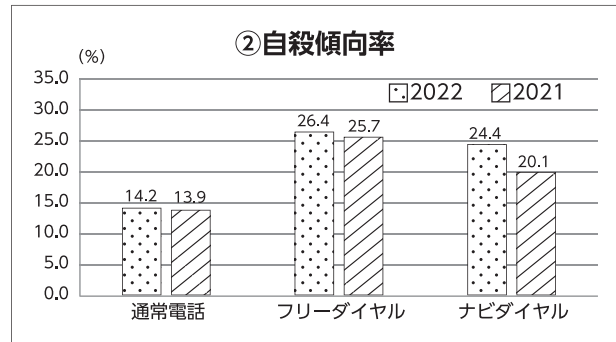
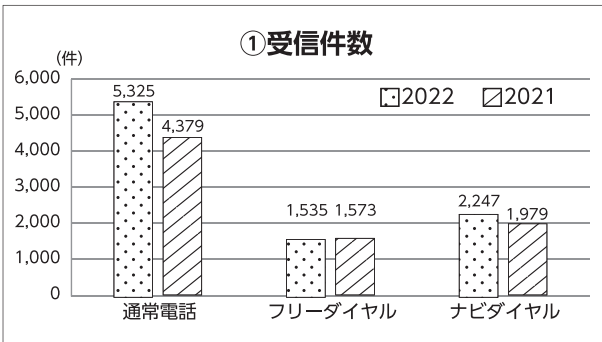
2. 受電形態別状況

通常電話 096-353-4343で365日24時間熊本センターで受け付けています。

フリーダイヤル 0120-783-556で毎月10日午前8時から翌日午前8時までと毎日16時から21時まで全国のセンターで受け付けています。数値は熊本センターで受け付けたものです。

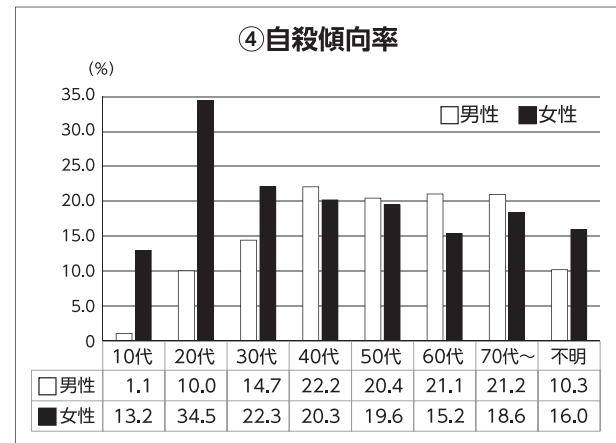
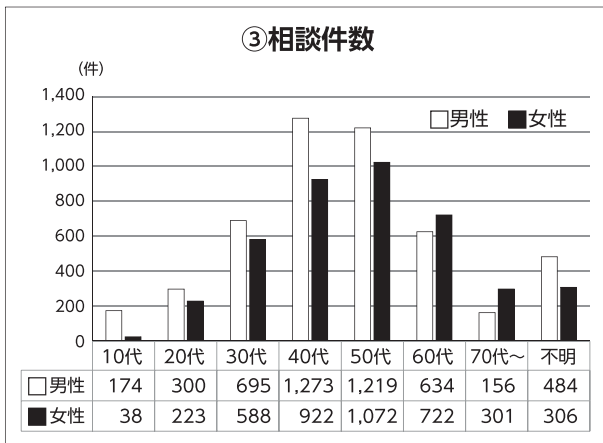
ナビダイヤル 0570-783-556で毎日10時から22時まで全国のセンターで受け付けています。数値は熊本センターで受け付けたものです。

自殺傾向率 電話相談のなかで自殺をほのめかす、可能性がある、予告する、実行中などの自殺傾向件数の割合。



受電形態別の受信件数は通常電話・ナビダイヤルは増加、フリーダイヤルは前年とほぼ同じ件数となった。自殺傾向率は2021年に比べ2022年はナビダイヤルが増加したが、両年とも通常電話、ナビダイヤル、フリーダイヤルの順に大きくなっている。

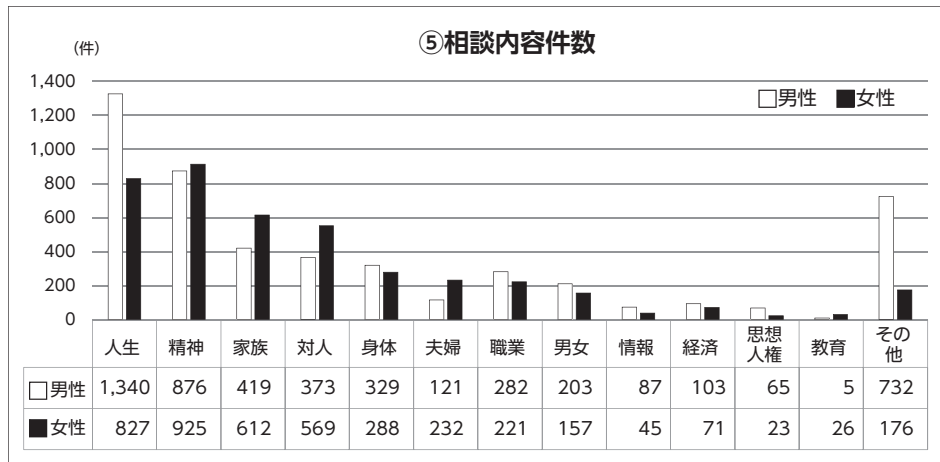
3. 年代別・男女別受信状況



相談件数は男女ともに若年層は少なく、40代、50代が多い。

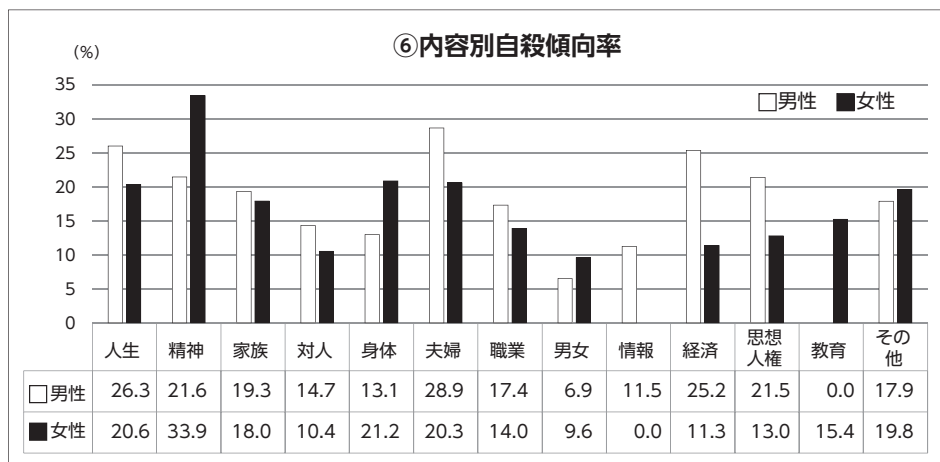
自殺傾向率は男性と女性で傾向が異なり、女性は若年層が高く、男性は年代とともに増加傾向がある。

4. 男女別相談内容分類別件数



相談内容分類としては男女ともに人生、精神、家族が上位3位となっており、例年通りである。分類別で男性より女性の方が相談件数が多いのは精神、家族、対人、夫婦、教育である。

5. 内容別自殺傾向率の比較



男女の自殺傾向率は相談内容毎に異なっている。⑤と⑥の精神を比較すると件数はほぼ同じでも自殺傾向率は女性が大きい。対人や夫婦では件数は女性が大きいですが自殺傾向率は男性が大きい。情報では女性がゼロ、教育では男性がゼロの項目もあり、興味深い結果となった。

6. 受信電話の種別による通話時間の比較

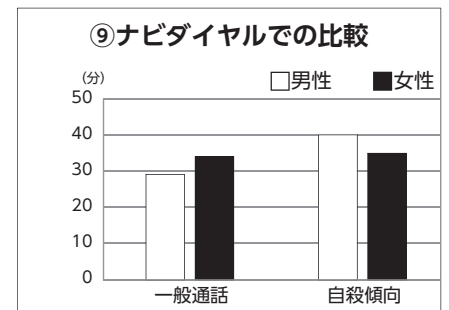
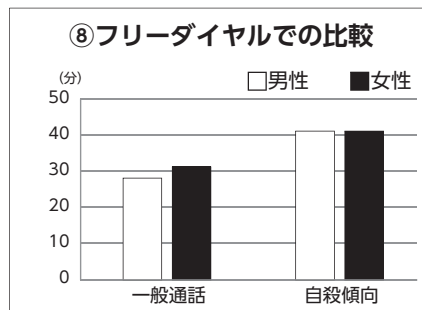
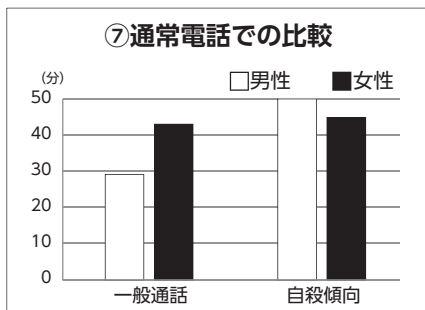
通常電話、フリーダイヤル、ナビダイヤルともに男性の一般通話（自殺傾向以外の通話）はどれも30分程度であるが、自殺傾向の通話は40分～50分で平均10分以上長くなっている。

女性の場合は、一般通話と自殺傾向通話と比較すると、通常電話ではどちらも同じ程度の時分、フリーダイヤルになると自殺傾向通話が10分程度長くなり、ナビダイヤルではほぼ同じ通話時分となっている。なぜこのような違いが生じているのかは今後の検討課題である。

電話種別による通話時間の比較

(分)

	通常電話		フリーダイヤル		ナビダイヤル	
	一般通話	自殺傾向	一般通話	自殺傾向	一般通話	自殺傾向
男性	29	50	28	41	29	40
女性	43	45	31	41	34	35



7. インターネット相談

2022年の全国での相談件数は1167件で、熊本では現在4名の相談員が年間34件の返信を担当した。相談の傾向としては、発達障がいや精神疾患をかかえ、日々生きづらさを感じている方からの相談件数の割合が非常に多い。3月4日、日本いのちの電話連盟からの派遣で、スーパーバイザー（精神科病院勤務の精神保健福祉士）が来熊され、当会館研修室にて久々に対面での継続研修ができ、これからの活動での相談文の読み解きに大変参考になった。また、昨年末から新しい相談員の養成研修も行われており、今後の相談件数が増えることを期待している。

3年ぶりの 一泊研修

電話相談員になるための研修1年間のまとめとして阿蘇YMCAキャンプで一泊研修を行います。コロナで開催を見送っていましたが今年は再開することができました。よりよい電話対応のため、研修生はそれぞれロールプレイに熱を込めて取り組み、大きな学びになりました。久しぶりに開催できた一泊研修に参加した方々にお話を聞きました。

研修生 Kさん



一泊二日の研修ではロールプレイや振り返りで思いついたときにすぐ先輩や先生に疑問を尋ねられるのでとても良かったです。早起きして太陽が昇るのを眺めながら語り合ったり、一泊研修だからこそ味わえた密度の濃い時間でした。研修生2年目は、疑問や不安をきちんと解消しながら、学びを活かし、心のこもった言葉が出せる相談員になりたいです。そのためにも、前向きで健全で健康な自分であることを大切に過ごしていきたいです。

研修生 Uさん



一泊する中で、相談員になろうという意識の高い人たちと同じ志で時間を共有することがとても大きいことでした。気持ちの共感によって自分も癒される。その経験が相談員になった時にも大切になると感じました。これからは実際に電話を受けるので緊張感をもって気を引き締めていきたいです。いろんな方がいれば様々な困りごとがある。それを自分の経験と想像を元に自分事として寄り添えるかということをテーマに臨みたいと思います。

研修生 Yさん



養成講座で学んだことの集大成が一泊研修でした。出会いやご縁を感じた二日間はみんなとじっくり学び合い、共に過ごす時間は楽しかったです。いつもは交わせない深いコミュニケーションもあり終わってみれば充実感でいっぱいです。研修生2年目は実際に相談を受けるので覚悟と不安、両方があります。一年前には想像も出来ない状況に自分がある。更に一年後はどんな変化を遂げられるのか、自身の可能性を信じて取り組んでいきたいです。

池田幸藏先生



一泊研修は、仲間意識が高まるきっかけになります。夜はみんなで話をしていたようで、改めてとても良い企画だったと感じますね。39期の皆さんにはコロナの中で、一年間養成講座を全うしていただけて有難いです。十分に研修が出来なかったという心苦しさがありますが2年目に向けて、不足した分を取り返すような研修体制を充実させたいと思います。



自 主 勉 強 会

「ガイドさんと巡る熊本城」

3月5日の日曜日、晴天に恵まれたうららかな陽気の中、21名の参加がありました。

案内に「くまもとよかとこ案内人」から二人のガイドさんに来てもらいました。

城彩苑のくまモン前に集合して2チームに別れ、一人ずつガイドさんに付いてもらい、2時間の熊本城を巡る会がスタートしました。

約7年前の地震で被害を受けた熊本城とその再建を、いろいろな角度から見る事ができました。復興半ばの石垣の話は特に印象深いものでした。歴史の話も盛り沢山でした。

広い敷地と雄大な熊本城は、熊本のシンボルだと再認識しました。参加された皆さんも、学びながらリフレッシュされたようです。

海外からの観光客や、修学旅行の学生たちも多く、少しずつ観光都市熊本の復活を感じました。



社会資源探訪

社会就労センター ライン工房 見学

3月3日、10:00~11:30、19名でB型作業所「ライン工房」の見学に行きました。4年ほど前と今回で2回目の見学になります。現地集合と近隣から徒歩で参加する班に分けたのですが、当日は快晴だったので徒歩では20分ほどの気持ち良い散歩になったようです。

到着すると、工房の方々が温かく出迎えてくださり、熊川施設長よりA型、B型作業所の違いや、障害を持つ人の数が全国で1160万人以上いること、うつ病や発達障がいを持つ人が増加していて、社会の中で生きづらい生活があることなどを詳しく説明していただきました。改めて掛け手のことや、電話相談の必要性を考えさせられました。その後、食品製造や製品の制作風景を細かく説明しながら案内していただきました。作業所の皆さんが、一つ一つの工程を丁寧に真剣に取り組まれている姿が印象的でした。

見学後は美味しそうに並んだクッキーやパンを購入し、参加者からは「参加してよかった。障がいについての知識や作業所について理解できた。」と笑顔と満足の声をいただきました。



ご支援ありがとうございます

熊本いのちの電話は多くの皆様に支えられています。感謝をもってご報告させていただきます。

寄付感謝報告

(令和4年12月1日～令和5年3月10日までにご確認出来た方)

法人・団体の部

(敬称略・順不同)

インマヌエル熊本キリスト教会 オフィス・ムジカ (株)木村 九州電機工業(株) 熊本聖三一教会 熊本電気鉄道(株)	熊本ロータリークラブ 医)孔子会 さいが総合法律事務所 宗教法人誠光寺 セベ産科用品(株)	MDRTソニー会 ダブルエスピー(株) 日本基督教団 日本基督教団 日本基督教団 日隈眼科	嶋崎 真也 熊本草葉町教会 熊本白川教会 錦が丘教会 日隈陸太郎	(有)フットフィール 宗教法人 佛嚴寺 (宗)法光寺 森本法律事務所 有斐総合法律事務所 匿名1件
--	---	--	--	--

個人の部

(敬称略・順不同)

赤星 敦 秋吉 睦 浅野 智弘 荒木 伸夫 有馬 修二 有吉 利幸 壺岐 憲司 伊豆 英一	板井 次男 伊藤勢津子 稲尾 貞臣 井上 新 岩浅 真司 上島 澄雄 上田真由美 江崎 啓子	悦 正治 大井 和美 大久保めぐみ 大洞 一成 岡田 洋一 岡部 美香 小椋 敏勝 片岡 隆治	片桐 清志 河北 敏夫 木曾萬喜治 清野 健 久保 理茎 郡山 和代 後藤 秀昭 小路島正臣	斉藤 登 坂村 哲子 崎元 達郎 佐藤 泰生 佐藤 征紀 柴野 泰 高杉ノリ子 高森 俊二	田中 信義 徳永 隆裕 那須新一郎 成松 眞 野田 馨 早川 洋一 原 史章 原口 耕作	開 由美子 平野のり子 堀 セツ子 本田 重寿 前田 充彦 牧 勝美 水野 博美 光永 尚生	宮崎 睦美 宮崎 拓郎 宮田 洋子 宮原 未治 宮本 進夫 米良 正彦 守屋 謙司 矢毛石 豊	山村 唯夫 山本 了 吉北 光昭 米光 宏 渡辺 誠二 匿名8名
--	---	--	---	--	---	---	--	---

※切手、お茶、コーヒー等もありがとうございました。感謝をもって、ご報告させていただきます。

MDRTソニー会さまからのご寄付

MDRT (Million Doller Round Table) とは、世界で選ばれた卓越した生命保険・金融のプロフェッショナル、又はその人達で構成する組織を指します。昨年、宮崎のシーガイアで開催されたソニー生命のMDRT全国大会に、熊本いのちの電話の池田菖子研修委員が招待されて講話を行い、会場で感銘を受けられた皆さんから募金をいただきました。

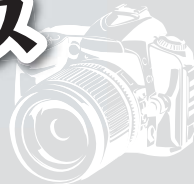


ソニー生命保険(株) 熊本支社 部長
嶋崎真也さまから寄付贈呈



イオン黄色いレシートキャンペーン・店頭活動

シャッターチャンス



悦評議員からの募金

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日にイオン熊本店(嘉島町)でのお買い物の際には、黄色いレシートを「熊本いのちの電話」のボックスにご投函お願いいたします。寄せられた黄色いレシートの総額の1%相当をギフトカードとしていただいております。レシートをご投函くださった皆様とイオン熊本店様に感謝申し上げます。

肥後銀行、熊本銀行、熊本第一信用金庫のご厚意で、寄附金お振込みの際の振込手数料を免除いただいております。各金融機関のご厚意に対しあらためて感謝申し上げます。

熊本いのちの電話 第40期電話相談員

養成講座受講生募集!!

「話を聴いて欲しい」「元気が出ない」そんな掛け手の心に寄り添う電話相談員を募集しています。養成講座では、カウンセリングの基礎や電話対応を学びますので経験がない方でも大丈夫です。あなたのやさしさをボランティアに活かしませんか。

講座時間 毎週火曜日 18:30～20:30
会場 熊本YMCA本館(段山町電停前)
費用 前期10,000円、後期12,000円 (一泊研修費用別途)
研修期間 前期 2023年 5月9日～2023年9月19日
後期 2023年10月3日～2024年3月19日
年齢 20歳～70歳(学割有り)
応募締切 2023年4月28日(金)

熊本いのちの電話
相談員募集のご案内が
YouTube【支え合う熊本】
の動画でご覧いただけます。

こちらのQRコードからどうぞ



※詳しい案内をご希望の方には、資料をお送りいたしますので事務局までご連絡ください。



2022年の自殺の状況が発表された。小中高生の自殺者が514人と統計開始以来、初めて500人を超えたという。専門学校や大学生という学生・生徒にまで広がると1,063人に倍増する。若年層に向けた自殺対策は喫緊の課題だ。原因は学校問題、健康問題、家庭問題と様々だろう、そこにコロナやSNSの浸透なども絡んできて、より複雑化・深刻化しているように思う。さらに将来的には仮想空間でコミュニケーションツール、メタバースなるものが社会サービスの基盤になるらしい。現在のSNSの扱いにも疎い身からすると何が何だか。だが、アバターと呼ばれる現実とは違う見た目の分身での交流は、年齢や性別の意識が薄れコミュニケーションがしやすいらしい。生きづらいつ感じている人の辛さが仮想世界で緩和されるかもしれない。誰にも相談できないという状態の改善が我々の目指すところ。電話であれインターネットであれ、選択肢が増えることでひとりでも救える命があれば良い。

事務局日誌

令和4年12月～令和5年3月

12月	6日	(株)SYKEN寄付贈呈式
	12日	県民共済寄付贈呈式
	13日	TKU取材
1月	13日	定例運営委員会
	21日	第22回チャリティ公演打合せ会
2月	4日	養成講座阿蘇一泊研修
	6日	熊日デジタル様取材
	18日	TKU「くらしの窓」出演
	24日	日本いのちの電話連盟電話相談事業委員会
3月	12日	研修委員会、研修リーダー合同研修会
	22日	第70回 理事会
	26日	自殺予防公開講演会「自殺に傾くひとへの理解」

※毎月10日 フリーダイヤル(10日8:00～翌日8:00まで)
※毎日フリーダイヤル(18:00～21:00)
※毎月第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会

熊本いのちの電話が

YouTube「自殺防ぐ最後の砦」
のタイトルで紹介されています。

QRコードからも視聴出来ます。



社会福祉法人 熊本いのちの電話
事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人:福田 稠 編集:広報委員会

熊本いのちの電話

検索



この広報誌は赤い羽根共同募金配分金により作成したものです。